

## 異常天候早期警戒情報の解説(XML フォーマット)

異常天候早期警戒情報は気象庁防災情報 XML フォーマットに従います。本解説は現在の異常天候早期警戒情報発表の運用に則して詳細に記述していますので、今後の運用の変更に伴って本解説の内容が変わる可能性があります

### 1. Control 部

```
<Control>  
  <Title>異常天候早期警戒情報</Title>  
  <DateTime>2012-01-03T05:15:40Z </DateTime>  
  <Status>通常</Status>  
  <EditorialOffice>新潟地方気象台</EditorialOffice>  
  <PublishingOffice>新潟地方気象台</PublishingOffice>  
</Control>
```

#### 1-1 Title

電文の種別を示すための情報名称

[解説] “異常天候早期警戒情報”で固定

#### 1-2 DateTime

発信時刻

[解説] 年月日時分秒を UTC 表記の DateTime 型で記載する。

#### 1-3 Status

運用種別

[解説] 本情報の位置づけを示し、次の値をとる

“通常”: 通常の情報を示す

“訓練”: 本情報は訓練であり、正規の情報として利用してはならないことを示す

“試験”: 本情報は試験であり、正規の情報として利用してはならないことを示す

#### 1-4 EditorialOffice

編集官署名

[解説] 実際に発表作業を行った官署名を示す。

#### 1-5 PublishingOffice

発表官署名

[解説] 業務的に発表した官署名を示す。

## 2. Head 部

```
<Head xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/informationBasis1/">
  <Title>低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報（北陸地方）</Title>
  <ReportDateTime>2012-01-03T14:30:00+09:00</ReportDateTime>
  <TargetDateTime>2012-01-09T00:00:00+09:00</TargetDateTime>
  <TargetDTDubious>頃</TargetDTDubious>
  <TargetDuration>P7D</TargetDuration>
  <ValidDateTime>2012-01-08T14:30:00+09:00</ValidDateTime>
  <EventID/>
  <InfoType>発表</InfoType>
  <Serial/>
  <InfoKind>異常天候早期警戒情報</InfoKind>
  <InfoKindVersion>1.1_0</InfoKindVersion>
</Head>
```

### 2-1 Title

情報の標題[解説] 情報の標題を示す。

例：

“高温に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”  
“低温に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”  
“気温に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”  
“大雪に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”  
“雪に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”  
“低温と大雪に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”  
“気温と雪に関する異常天候早期警戒情報（地方名）”

地方名は、発表官署の担当地域名を記載する。次の値のいずれかをとる

“北海道地方” “東北地方” “関東甲信地方” “北陸地方” “東海地方” “近畿地方” “中国地方”  
“四国地方” “九州北部地方（山口県を含む）” “九州南部・奄美地方” “沖縄地方”

### 2-2 ReportDateTime

発表時刻

[解説] 発表時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する

### 2-3 TargetDateTime

基点時刻

[解説] 本情報で早期警戒の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す

基点時刻を JST 表記の DateTime 型で表記する

Headline 部の 2-12-2-1Kind 部の Name が“早期警戒事項なし”となる場合、この要素は  
<TargetDateTime xsi:nil="true"/>となる

### 2-4 TargetDTDubious

基点時刻のあいまいさ

[解説] “頃”で固定

Headline 部の 2-12-2-1Kind 部の Name が“早期警戒事項なし”となる場合、この要素は出現しない

### 2-5 TargetDuration

予報期間

[解説] 本情報の対象が時間幅を持つ場合、<TargetDateTime>を基点とした時間の幅を示す

“P7D”で固定

Headline 部の 2-12-2-1Kind 部の Name が“早期警戒事項なし”となる場合、この要素は出現しない

### 2-6 ValidDateTime

失効時刻

[解説] 発表時刻 (ReportDateTime) の 5 日後に設定。JST 表記の DateTime 型で表記する

### 2-7 EventID

## 識別情報

[解説] 常に空タグとなる

## 2-8 InfoType

### 情報形態

[解説] “発表” “訂正” のいずれかを記載する

## 2-9 Serial

### 情報番号

[解説] 常に空タグとなる

## 2-10 InfoKind

### スキーマの運用種別情報

[解説] “異常天候早期警戒情報”で固定

## 2-11 InfoKindVersion

### スキーマの運用種別情報のバージョン番号

[解説] バージョン番号を記載する

例:バージョン 1.0 の場合 ⇒ <InfoKindVersion>1.0\_0</InfoKindVersion>

例:バージョン 1.1 の場合 ⇒ <InfoKindVersion>1.1\_0</InfoKindVersion>

## 2-12 Headline 部

```
<Headline>
  <Text/>
  <Information type="異常天候早期警戒情報">
    <Item>
      <Kind>
        <Name>要早期警戒</Name>
        <Condition>1月9日頃からの約1週間、かなりの低温の確率30%以上、大雪の確率30%以上</Condition>
      </Kind>
      <Areas codeType="全国・地方予報区等">
        <Area>
          <Name>北陸地方</Name>
          <Code>010500</Code>
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
  </Information>
</Headline>
```

### 2-12-1 Text

#### 見出し文

[解説] 常に空タグとなる

### 2-12-2 Information 部

[解説] type 属性をとり、属性値は“異常天候早期警戒情報”で固定  
個々の防災気象要素 (Item) を記載する

#### 2-12-2-1 Item 部

[解説] 早期警戒の内容 (Kind 部)、早期警戒の地域 (Areas 部) を記載する

#### 2-12-2-1 Kind 部

[解説] 警戒レベル (Name)、状況 (Condition) を記載する

Name の値は次のいずれかをとる

“要早期警戒”

“早期警戒事項なし”

Name が“要早期警戒”の場合、状況 (Kind/Condition) が出現し警戒期間・かなりの高温、かなりの低温、大雪 (本電文では7日間合計降雪量が「かなり多い」階級となることを示す) となる確率を記載する

## 2-12-2-2 Areas 部

### 地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は“全国・地方予報区等※”で固定。

対象地域 (Area) を記載する

属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が“全国・地方予報区等”であることを示す

警戒レベル (Kind/Name) が“要早期警戒”となった場合は、3-3-1-4 Item 部において、警戒レベル (Kind/Name) が“要早期警戒”となった地域の、地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

該当予報区において、“要早期警戒”となる地域がない場合は、その予報区を示す地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

予報区内で“要早期警戒”となる一部細分地域が2地域以上の場合、対象地域 (Area) は複数出現する

例 北海道オホーツク海側と北海道太平洋側で“要早期警戒”の場合の<Areas>

```
<Areas codeType="全国・地方予報区等">
  <Area>
    <Name>北海道オホーツク海側</Name>
    <Code>010102</Code>
  </Area>
  <Area>
    <Name>北海道太平洋側</Name>
    <Code>010103</Code>
  </Area>
</Areas>
```

### ※予報区の定義

異常天候早期警戒情報で使用する予報区（地方予報区）

それぞれの地方予報区はさらに地方予報区を細分した地域（一部細分地域）を持つ

(地方予報区)	(一部細分地域)
北海道地方	北海道日本海側 北海道オホーツク海側 北海道太平洋側
東北地方	東北日本海側 東北太平洋側 東北北部 東北南部
北陸地方	
関東甲信地方	長野県北部・群馬県北部
東海地方	岐阜県山間部
近畿地方	近畿日本海側 近畿太平洋側
中国地方	山陰 山陽
四国地方	
九州北部地方	
九州南部・奄美地方	九州南部 奄美地方
沖縄地方	

### 3. Body 部

```
<Body xmlns="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/body/meteorology1/"
xmlns:jmx_eb="http://xml.kishou.go.jp/jmaxml1/elementBasis1/"
<TargetArea codeType="全国・地方予報区等">
  <Name>北陸地方</Name>
  <Code>010500</Code>
</TargetArea>
</Notice>
<MeteorologicalInfos type="異常天候早期警戒情報">
  <MeteorologicalInfo>
    <DateTime significant="yyyy-mm-dd" precision="P3D">2012-01-09T00:00:00+09:00</DateTime>
    <Duration>P7D</Duration>
    <Name>1月9日頃からの約1週間</Name>
    <Item>
      <Kind>
        <Name>要早期警戒</Name>
        <Property>
          <Type>かなりの低温</Type>
          <ClimateFeaturePart>
            <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="気温">
              <jmx_eb:Text>7日平均地域気温平年差-2.4℃以下となる確率が30%以上です</jmx_eb:Text>
              <jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal unit="%" bound="以上">30
              </jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal>
              <jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal unit="℃" bound="以下">-2.4
              </jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal>
            </jmx_eb:SignificantClimateElement>
          </ClimateFeaturePart>
        </Property>
      </Kind>
      <Areas codeType="全国・地方予報区等">
        <Area>
          <Name>北陸地方</Name>
          <Code>010500</Code>
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
    <Item>
      <Kind>
        <Name>要早期警戒</Name>
        <Property>
          <Type>大雪</Type>
          <ClimateFeaturePart>
            <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="降雪量">
              <jmx_eb:Text>7日合計地域降雪量平年比120%以上となる確率が30%以上です</jmx_eb:Text>
              <jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal unit="%" bound="以上">30
              </jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal>
              <jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal unit="%" bound="以上">120
              </jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal>
            </jmx_eb:SignificantClimateElement>
          </ClimateFeaturePart>
        </Property>
      </Kind>
      <Areas codeType="全国・地方予報区等">
        <Area>
          <Name>北陸地方</Name>
          <Code>010500</Code>
        </Area>
      </Areas>
    </Item>
    <Item>
      <Kind>
        <Property>
          <Type>本文</Type>
          <Text>今回の検討対象期間（1月8日から1月17日まで）において、北陸地方では、1月9日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり低くなる確率が30%以上となっており、降雪量が平年よりかなり多くなる確率が30%以上となっています。
          今後の気象情報に注意して下さい。
          なお、北陸地方では、今後1週目から2週目にかけて気温の低い状態が続く見込みです。 </Text>
        </Property>
      </Kind>
      <Areas codeType="全国・地方予報区等">
        <Area>
```

```
<Name>北陸地方</Name>
<Code>010500</Code>
</Area>
</Areas>
</Item>
</MeteorologicalInfo>
</MeteorologicalInfos>
</Body>
```

### 3-1 TargetArea 部

発表官署の担当地域を記載する

[解説] codeType 属性の属性値は“全国・地方予報区等”で固定。

この要素の子要素のコード種別(TargetArea/Code)が“全国・地方予報区等”であることを示す  
また子要素により、地域名称(TargetArea/Name)とコード値(TargetArea/Code)を記載する

### 3-2 Notice

お知らせ

[解説] 常に空タグとなる

### 3-3 MeteorologicalInfos 部

[解説] type 属性の属性値は“異常天候早期警戒情報”で固定

予報内容に関する事項(MeteorologicalInfo)を記載する

#### 3-3-1 MeteorologicalInfo 部

[解説] 予報内容(予報基点時刻(DateTime)、予報対象期間の長さ(Duration)・予報期間の内容(Name)、早期警戒の内容・本文等(Item))を記載する

##### 3-3-1-1 DateTime

予報の基点時刻

[解説] significant 属性値により、時刻の有効部分が[“日”]までであることを示す。

precision 属性により、時刻の正確さの幅が3日程度あることを示す

JST 表記の DateTime 型で表記する

##### 3-3-1-2 Duration

予報対象期間の長さ

[解説] 異常天候早期警戒情報は5日先から8日先を最初の日とする7日間平均気温または7日間降雪量を予想している。

「予報対象期間」の長さとは、この“7日間”を指す

要早期警戒の場合：“P7D”で固定

早期警戒事項なしの場合：“P10D”で固定

##### 3-3-1-3 Name

予報期間の内容

[解説] 予報期間の文字表現として、次の値をとる

要早期警戒の場合：“\*月\*日頃からの約1週間”

早期警戒事項なしの場合：“\*月\*日から\*月\*日まで”

##### 3-3-1-4 Item 部

早期警戒の内容、閾値・確率を記載する Item

[解説] 予報要素(早期警戒の内容・本文等(Kind 部))及び地域(Areas 部)を記載する

この Item 部は、早期警戒の対象となる気象要素(“気温”“降雪量”)毎に、“気温”“降雪量”の順で出現する。  
さらに、一部細分地域(2-12-2-2 Areas 部 参照)で異なる警戒レベル(“要早期警戒”“早期警戒事項なし”)となる場合は、それぞれに分かれて出現する

なお、早期警戒の対象となる気象要素は、jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値にて示される。(3-3-1-4-1-1-1 jmx\_eb:SignificantClimateElement 部 参照)

また、それぞれの早期警戒の対象となる気象要素に対して、「前発表日に発表がない、または前回発表時に予報区内で“要早期警戒”事項がない」かつ「今回“要早期警戒”事項がない」ならば、この Item 部は出現しない。

#### 3-3-1-4-1 Kind 部

[解説] 警戒レベル(Name)、量的予想の詳細(Property 部)を記載する

Name の値は次のいずれかをとる

“要早期警戒”

“早期警戒事項なし”

#### 3-3-1-4-1-1 Property 部

概況文・特徴のある確率文を記載する

[解説] 量的予想の種類(Type)、天候の特徴(CliamteFeature 部)を記載する

■ jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が“気温”の場合

Type は次の値のいずれかをとる “かなりの高温” “かなりの低温” “なし”

■ jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が“降雪量”の場合

Type は次の値のいずれかをとる “大雪” “なし”

“気温”及び“降雪量”に対して、共に“早期警戒事項なし”の情報が出された場合、Type が“なし”となる Item 部が気象要素ごとに現れる。なお、この Item 部が対象とする気象要素は jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値にて示される。

#### 3-3-1-4-1-1-1 ClimateFeaturePart 部

天候の特徴

[解説] 特徴のある確率の内容(SignificantCliamteElement 部)を記載する

#### 3-3-1-4-1-1-1-1 jmx\_eb:SignificantClimateElement 部

特徴のある気温または降雪量の確率

[解説] kind 属性の属性値は、早期警戒の対象となる気象要素として次の値のいずれかをとる “気温” “降雪量”

この要素の子要素は Property/Type の値に応じて、以下ようになる

■ 共通 : 確率文の平文表現(significantClimateElement/Text)を記載する

■ jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が“気温”の場合

・ Property/Type = “かなりの高温”の場合

平年よりかなり高い確率 (ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal)

平年よりかなり高いとなる閾値 (ThresholdOfSignificantlyAboveNormal)

・ Property/Type = “かなりの低温”の場合

平年よりかなり低い確率 (ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal)

平年よりかなり低いとなる閾値 (ThresholdOfSignificantlyBelowNormal)

・ Property/Type = “なし”の場合

平年よりかなり低い確率 (ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal)

平年よりかなり高い確率 (ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal)

平年よりかなり低いとなる閾値 (ThresholdOfSignificantlyBelowNormal)

平年よりかなり高いとなる閾値 (ThresholdOfSignificantlyAboveNormal)

■ jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が“降雪量”の場合

・ Property/Type = “大雪”の場合

平年よりかなり多い確率 (ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal)

平年よりかなり多いとなる閾値 (ThresholdOfSignificantlyAboveNormal)

・ Property/Type = “なし”の場合

平年よりかなり多い確率 (ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal)

平年よりかなり多いとなる閾値 (ThresholdOfSignificantlyAboveNormal)

なお、一部細分地域で警戒レベル (kind/Name) が“早期警戒事項なし”となった場合、該当する Item 部 3-3-1-4-1-1-1-1-1-1 以下は出現せず、jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が、早期警戒の対

象となる気象要素を示す。具体例は「4 “3-3-1-4 Item 部” の補足」

3-3-1-4-1-1-1-1-1-1 jmx\_eb:ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal  
jmx\_eb:ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal

平年よりかなり低いか高い（多い）となる確率

[解説] unit 属性により、単位を示し、“%”で固定

bound 属性により、階級区分閾値を補足する情報を示す。

bound 属性値は次のいずれかをとる“以上” “未満”

3-3-1-4-1-1-1-1-2 jmx\_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal  
jmx\_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal

平年よりかなり低いか高い（多い）となる閾値

[解説] unit 属性により、単位を示し、気温の場合は“°C”、降雪量の場合は“%”をとる

bound 属性により、階級区分閾値を補足する情報を示す

bound 属性値は ThresholdOfSignificantlyAboveNormal の場合 “以上”で固定

ThresholdOfSignificantlyBelowNormal の場合 “以下”で固定

### 3-3-1-4-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は“全国・地方予報区等”で固定。

対象地域 (Area) を記載する

属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が“全国・地方予報区等”であることを示す

Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

早期警戒の対象となる気象要素毎に、同一予報区内において、Kind 部で表示する内容の対象となる一部細分地域が2地域以上の場合、対象地域 (Area) は複数出現する

例 北海道オホーツク海側と北海道太平洋側で“要早期警戒”の場合の<Areas>

```
<Areas codeType="全国・地方予報区等">
  <Area>
    <Name>北海道オホーツク海側</Name>
    <Code>010102</Code>
  </Area>
  <Area>
    <Name>北海道太平洋側</Name>
    <Code>010103</Code>
  </Area>
</Areas>
```

### 3-3-1-5 Item 部

本文を記載する Item

[解説] 予報要素 (Kind 部) 及び地域 (Areas 部) を記載する。

本文を記載する Item は MeteorologicalInfo 以下に1つのみ出現

#### 3-3-1-5-1 Kind 部

[解説] 解説行 (Property 部) を記載する

##### 3-3-1-5-1-1 Property 部

解説行

[解説] 情報の種類 (Type) と本文 (Text) を記載する

Type の値は“本文”で固定

#### 3-3-1-5-2 Areas 部

地域名要素全体

[解説] codeType 属性の属性値は“全国・地方予報区等”で固定。

対象地域 (Area) を記載する

属性値により、Area の子要素のコード種別 (Area/Code) が“全国・地方予報区等”であることを示す  
Kind 部で表示する内容の対象となる地域名称 (Area/Name) とコード値 (Area/Code) を記載する

#### 4 “3-3-1-4 Item 部”の補足

警戒レベル (kind/Name) が“早期警戒事項なし”となる場合、該当する Item 部は、一部細分地域を対象とするか否かで出現の仕方が異なる

##### ① 地方予報区全体で“早期警戒事項なし”の場合 (前回“要早期警戒”の場合)

###### ■ jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が“気温”の場合

3-3-1-4-1-1-1-1-1 以下が出現し、特徴のある気温の確率などを示す

```
<Item>
  <Kind>
    <Name>早期警戒事項なし</Name>
  <Property>
    <Type>なし</Type>
    <ClimateFeaturePart>
      <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="気温">
        <jmx_eb:Text>7日平均地域気温平年差+2.3℃以上、-2.4℃以下となる確率は共に30%未満です</jmx_eb:Text>
        <jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal unit="%" bound="未満">30</jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal>
        <jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal unit="%" bound="未満">30</jmx_eb:ProbabilityOfSignificantlyAboveNormal>
        <jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal unit="℃" bound="以下">-2.4</jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyBelowNormal>
        <jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal unit="℃" bound="以上">2.3</jmx_eb:ThresholdOfSignificantlyAboveNormal>
      </jmx_eb:SignificantClimateElement>
    </ClimateFeaturePart>
  </Property>
</Kind>
<Areas codeType="全国・地方予報区等">
  <Area>
    <Name>北陸地方</Name>
    <Code>010500</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
```

###### ■ jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が“降雪量”の場合

気温の場合と同様に 3-3-1-4-1-1-1-1-1 以下が出現し、特徴のある降雪量の確率などを示す。(SignificantClimateElement の kind 属性値は“降雪量”となる。また、降雪量の場合は“かなり少ない”に関する警戒は呼び掛けないため ProbabilityOfSignificantlyBelowNormal、ThresholdOfSignificantlyBelowNormal は出現しない)

##### ② 地方予報区の一部細分地域で“早期警戒事項なし”でその他の細分地域が“要早期警戒”の場合

“早期警戒事項なし”の一部細分地域には 3-3-1-4-1-1-1-1-1 以下は出現せず、jmx\_eb:SignificantClimateElement 部の kind 属性値が早期警戒の対象となる気象要素を示す。気温の例は以下のとおり

```
<Item>
  <Kind>
    <Name>早期警戒事項なし</Name>
  <Property>
    <Type>なし</Type>
    <ClimateFeaturePart>
      <jmx_eb:SignificantClimateElement kind="気温">
        <jmx_eb:Text />
      </jmx_eb:SignificantClimateElement>
    </ClimateFeaturePart>
  </Property>
</Kind>
<Areas codeType="全国・地方予報区等">
  <Area>
    <Name>北海道太平洋側</Name>
    <Code>010103</Code>
  </Area>
</Areas>
</Item>
```